

2003年度 児童教室Eクラス

# 「キヤッツ・テイル」

怪盗「キヤッツ・テイル」 3人

キヤッツ・テイル お助けメンバー 2人

キヤッツ・テイル 下働き ポチ（先生）

キヤッツ・テイルを追う警察 警部・刑事2人

チッチ・ビルディングの警備員 4人

チッチ・ビルディング オーナー マダム・チッチ（先生）

☆真夜中・チッチ・ビルディングの入り口

警備員1・2が見回りをしている。

二人はすれ違うたびに敬礼をし、

警備員2 異常なし！

警備員1 異常なし！

そこにお助け1がコソコソとやってくる。

お助け1が手招きすると、続いてお助け2、怪盗1がコソコソと入ってくる。

そこに警部たちがやってくる。

慌ててかくれる怪盗たち。

警備員1 ○○警部！

警備員2 おつかれさまです。

警備員1 11時50分、異常ありません。

刑事1 本当にくるんでしょうか。

警備員2 もうすぐ予告の12時になります。

お助け1・3、二人でこっそりビルに入っていく。

警部 ヤツらは絶対来る。

刑事2 怪盗キャッツ・テイルは、予告して来なかったことは一度もありません。

警備員3・4があわてて走り込んでくる。

警備員4 大変です！

警備員1 どうしたの！

警備員3 3階の窓から何者かが侵入しました！

警備員2 まさか、キャッツ・テイル！？

警部 行くぞ！

警部たち、去る。

ひとり残った怪盗1、ビルの中に入っていく。

やがて宝物の元にたどり着く。

手を伸ばして宝物を盗ろうとしたとき、警報が鳴る。

ダンス「Realizer

逃げ出す怪盗1。

お助け1・3も走ってきて、いっしょに逃げ出す。

三人の行く手は警部たちにふさがれ、囲まれてしまう。

そこに怪盗2・3が助けにくる。

怪盗2・3 こっちこっち！

二人に助けられ、逃げ出す三人。

ダンスが終わると、怪盗たちはいなくなっている。

警部 追え！

警部たち、出ていく。

☆真夜中・喫茶店「キャッツ・テイル」の店の中

怪盗たちが警察から逃げのびて、帰ってくる。

怪盗1 ありがとう。

怪盗2 危ないなあ、もう。

怪盗3 なんで一人でいったの。

怪盗1 ごめん。

怪盗3 私たちまだ仲間ですよ。

怪盗2 三人そろって、怪盗キャッツ・テイルなんだから。

怪盗1 どうしても、あれだけは盗んでおきたくって。

怪盗2 私たちは仲間なんだから。

怪盗1 ありがとう。

お助け1・3 コラー！待てー！

ポチ、キッチンからお助け1・3に追いかけてくる。

☆翌日の夕方・喫茶店「キャッツ・テイル」の店の中

ポチ 店長、店長！

みんな うるさいなあ。

ポチ 店長！

怪盗2 なによ。

ポチ ○○(怪盗1のなまえ)さんがお店やめるって本当ですか。

怪盗3 そうよ。

ポチ やだやだやだやだ！

みんな うるさいなあ。

ポチ だってそしたらこの喫茶店、どうするんですか。

怪盗2 やるわよ。

ポチ 厨房は。

怪盗2 あんたよ。

ポチ ウエイターは？

怪盗3 あんたよ。

ポチ レジは？

怪盗 あんたよ。

ポチ やだやだやだやだ！忙しい！

みんな うるさーい！

ポチ じゃあ、泥棒稼業は？

怪盗2 それは、おしまい。

ポチ え？

怪盗3 だって、私たち三人そろってキャッツ・テイルだもの。

怪盗2 ○○(怪盗1のなまえ)がいなくなったら、もつできないわよ。

怪盗1 ごめんね。

怪盗3 ううん、いいの。

お助け1 大丈夫よ、お店は私たちも手伝うから。

ポチ ありがとうございます。○○(お助け1のなまえ)さん、○○(お助け2のなまえ)さん。

お助け1 だって私たち、怪盗「キャッツ・テイル」のお助けメンバーだもの。

お助け1 お店のことは、まかせてちょうだい。

怪盗2 でもその前に、最後の大仕事があるわよ。

ポチ 最後の仕事？

お助け1 しっ！

警部たちと警備員たちが店に入ってくる。

みんな いらっしやいませ。

お助け1 なーんだ、○○(警部のなまえ)たちか。

警備員4 なーんだ、ってなによ。

警備員3 ねえ、そろそろこの店の名前、変えない？

お助け1 なんて？

警備員1 喫茶店「キャッツ・テイル」って、変だと思っただけど。

お助け1 いいじゃない、かわいくて。

警備員2 キャッツ・テイルって、ネコのしっぽよ。しっぽ。

お助け1 そうよ。

警備員4 なんか変なもの食べさせられそう。

警備員3 それに泥棒と同じ名前だよ。

ポチ いつも負けっ放しだから気になるんですよ。

警部たち、落ち込む。

警備員組 くらーっ！

ポチ キャンキャン！

お助け1 ちょっと、うちのポチをいじめないですよ。

警備員1 ひどいこというんだもん。

警備員3 ○○(警部の名前)、しっかり。

警部 でも昨日はさすがのキャッツ・テイルも失敗したしね。

怪盗たち、落ち込む。

ポチ みんな、しっかりしてください。

お助け1 つかまえられなかったくせに。

刑事1 そうだけど。

お助け1 キャッツ・テイルはきつとまた盗みにくるもん。

刑事2 もう大丈夫よ。

お助け1 なんて？

刑事1 明日の朝には、外国に向けて出発するから。

怪盗3 外国？

怪盗1 明日？

警部 持ち主のマダム・チッチさんが、盗まれないように外国の銀行に入れとくっていったよ。

刑事2 今夜は百人の警備員がビルの中も外も見張ってるからね。

刑事1 ネコどころか、ネズミー匹入れないわよ。

警備員1 そしてお宝を守るのは、○○(警備隊1の名まえ) 隊隊長！

警備員2 ○○(警備隊2の名まえ) 隊隊長！

警備員3 ○○(警備隊3の名まえ) 隊隊長！

警備員4 ○○(警備隊4の名まえ) 隊隊長！

四人 お宝は、私たちが守ります！

5時を知らせるチャイムが鳴る。

警備員3 警部、5時です。

警部 もう行かなきゃ。

怪盗1 もう？

警備員組 えー。

刑事2 えー、じゃないでしょ。

警備員1 やだ！

刑事1 やだ、じゃないよ。

警備員2 まだ早いよ。

刑事2 早くないよ。

警備員3 だってまだ明るいじゃん。

警備員4 もうちょっと平気だよ。

ポチ カーカーカー！

お助け1 カラスが鳴くからカーえろ。

警部 帰らないよ。仕事だよ。

刑事1 泥棒に入られないようにね。

刑事2 今日は徹夜で警備なんだよ。

警部 じゃあ、また。

キャッツ組 カラスが鳴くからカーえろ。

警察・警備員組 バイバイ、みんな。また明日。

警部たちと警備員たち、お店を出て行く。

怪盗1 ○○○(警部の名前)。

警部 なに。

怪盗1 明日の朝、お店に寄ってくれる？

警部 そっか、明日出発だったっけ。

怪盗1 その前に、○○○(警部のなまえ)にプレゼントがあるの。

警部 わかった。絶対くるよ。

怪盗1 約束だよ。

警部 約束。だからさ、キャッツ・テイルを捕まえられるように祈ってよ。  
怪盗1 うん。

警部 じゃあね。

怪盗1 カラスが鳴くからかーえろ。

警部 バイバイ、○○(怪盗1のなまえ)、また明日。

警部、お店を出ていく。

ポチ 店長、店長、大変ですよ、どうしましょう！

みんな うるさい！

怪盗2 今日の夜が最後のチャンスってことね。

お助け1 行くの？

怪盗1 みんな、力を貸してくれる？

怪盗3 もちろん。

お助け1 でも今日はあぶないよ。

ポチ 百人ですよ、百人！

みんな うるさい！

お助け1 外国に行っちゃったって、またチャンスはあるよ。

怪盗1 ううん。これはどうしても今夜のうちに盗まなきゃダメなの。

お助け1 そのお宝って、なんなの？

怪盗2 こーんなおっきなダイヤモンドか。

怪盗3 こーんなおっきな金のかたまりとか。

ポチ こーんなでっかい鳥の丸焼きとか。

怪盗3 なんですよ。

ポチ うまいじゃないっすか。

怪盗2 あっち行ってて。

お助け1・3、ポチを部屋のすみっこに引きずっていく。

怪盗1 実はね、あのビルの最上階に…

怪盗1、ヒソヒソと話し始める。

ポチ、こっそり近づいて聞いている。

ポチ  
えーっ！  
みんな  
うるさい！

ポチ、逃げ出す。  
それを追いかけて、怪盗たちも出ていく。

☆その日の夜・チッチ・ビルディング最上階のなんだかエラそうな部屋

警部たちと警備員たちが入ってきて、お辞儀する。  
そこに、オーナーのマダム・チッチがやってくる。

チッチ  
あたくしがこのビルのオーナー、マダム・チッチですわ。見ての通りの大金持ち。ええ、もちろんこのたぐいまれなる美貌については説明するまでもないわね。あたくしにひれ伏さないものはこの世にないといっても過言じゃないわ。

警部  
あの、  
美しさの秘訣かしら？  
チッチ  
聞いてません。  
刑事2  
クソ生意気な刑事なこと。  
チッチ  
それで、宝物はどこにあるの？  
チッチ  
これよ。

マダム・チッチ、「宝のありか」とかかれた段ボール箱を取り出す。

刑事2  
これ？  
刑事1  
なんで段ボールなの？  
チッチ  
おバカさんね、豪華な箱に入れといたら、そこにお宝があるって宣伝して  
るようなもんじゃないの。  
刑事1  
だってこれ、「宝のありか」って書いてあるよ。  
チッチ  
ゴミと間違えたら大変じゃないの。  
刑事2  
バツカじゃないの。  
警部  
まあまあ。盗まれなきゃいいだけだ。



チツチ  
それで、警備の方は万全なんでしょうね。

刑事2  
もちろんです。

刑事1  
警備隊、前へ！

警備員たち、前に出てくる。

警部  
それでは、説明させていただきます。

警備員1  
まずはヤツらの侵入をいち早く察知する、赤外線センサー！

警備員たち、なわとびで仕掛けを作る。

警備員1  
そう簡単には通り抜けられません。名づけて、

みんな  
「いろはにこんぺいとう」作戦！

警備員3  
次に侵入者を退治する完全武装の警備員！

警備員たち、ピコピコハンマーを構える。

警備員3  
動いているものを見つけ次第、ぶったたきます。名づけて、

みんな  
「だるまさんがころんだ」作戦！

警備員2  
さらにこの部屋の前のろうかには、侵入者を発見すると動き出すワナがしかけられています。

チツチ  
ワナ？

警備員2  
ろうかに一歩でも入ったとたん、大きな岩が落ちてきます。

警備員たち、バランスボールを投げる。

なにかがこわれるすごい音がする。

チツチ  
ちょっと！

警備員2  
これでヤツらはペしゃんこです。名づけて、

みんな  
「ちよっぴり危ないボール遊び」大作戦！

チツチ  
ものすごく危ないわ。

警備員4  
それでもこの部屋まで入ってこられた場合、ここには最後のワナがしかけられています。

チッチ 最後のワナ。  
警備員4 まずここに、ヤツらの好物をしかけておくんです。  
チッチ あ！あんぱんだ！  
警備員4 好物に誘われて近づいてきたヤツらは、  
チッチ いっただっきまーす！  
警備員4 落とし穴に落ち、  
チッチ キャー！落とし穴よー！  
警備員4 その下に作られた、牢屋にはいるわけです。  
チッチ あー！牢屋じゃないのー！助けてちょうだい！  
刑事1 完ぺきです、警部。  
警部 さあ、準備にかかるぞ！

ダンス「ひよっこりひょうたん島」

☆真夜中・チッチ・ビルディングの1階

警備員組がなわとびでセンサーをしかけている。  
それを最上階から監視している警察組。

怪盗2 さあ、みんな、行くわよ。  
みんな おーっ！  
お助け1 待って！そこに赤外線センサーがあるわ。気をつけて！  
警備員組 いろはにこんぺいとう作戦！  
警備員1 さあ、来なさい！

みんな、センサーの合間をぬって通り抜けていく。

ポチ あっ！すべった！

ポチ、センサーに引っかかり、警報が鳴る。

キャッツ組 バカーツ！

警備員組、ポチを追いかけて去る。  
怪盗たち、それをかくれてみている。

刑事2 ○○（刑事1のなまえ） 刑事、センサーに反応が！  
刑事1 ヤツらはどこだ！  
刑事2 逃げられました！  
警察組 ちくしょう！

警備員組、ピコピコハンマーを持って出てくる。

☆同時刻・チッチ・ビルディングの20階

警備員に追われたポチ、ようやく怪盗たちに追いつく。

怪盗3 なんとか20階まで来たね。早く行こう。  
お助け1 待って、すごい数の警備員がいるわ。私たちが気を引くから、そのすきに  
行って。  
怪盗2 わかった。  
お助け1 行くわよ、ポチ。  
ポチ はい。

ピコピコハンマーを構える警備員組。

警備員組 だるまさんがころんだ作戦！  
警備員3 通れるものなら通ってみなさい！  
ポチ うわー！またすべったー！  
キャッツ組 バカーッ！

警備員組、ポチをボコボコ殴る。  
必死で逃げていくポチ。  
怪盗たち、それをかくれてみている。

刑事2 ○○（刑事1のなまえ） 刑事、ヤツらは20階で警備員たちとなぐりあっ

てるようです。

刑事1 よし、捕まえたか。

刑事2 ダメです。すごいスピードで逃げていきました！

警察組 ちくしょう！

警備員組、バランスボールを持って出てくる。

☆同時刻・チッチ・ビルディングの40階

怪盗2 いよいよ40階。ここを抜けたら最上階よ。行きましょ。

お助け1 待って。このろうかはあやしいわ。

お助け1 きっとなにかワナがあるはず。

警備員組、ボールをかまえる。

警備員組 ちよっぴり危ないボール遊び大作戦！

警備員2 さあ、一歩でもふみこんだらペシヤンコよ。

怪盗3 こんなとき、出てくるのは…。

傷だらけになったポチ、追いついてくる。

ポチ すいません、遅くなりました…うわー！またまたすべったー！

みんな やっぱりーっ！

警備員組、ボールを転がしてキャッツ組を追いかける。

逃げ回るキャッツ組。

刑事2 ○○（刑事1のなまえ）刑事、ヤツらがワナに引っかかりました！

刑事1 本当か！警部、ちよっぴり危ないボール遊び大作戦、成功です！

警部 ……。

刑事1 警部？警部！

警部 うわ…！寝てた。

刑事たち コラー！

警備員組、ボールをポチにぶつける。

ポチ 助けてー！

ポチ、ボールといっしょに転がっていく。

警部 よし、逮捕だ！

刑事たち はっ！

警察・警備員組、ポチを追いかけていく。

怪盗たち、ポチの転がっていった方を見ながら、手を合わせる。

怪盗1 危ないところだった…。

お助け1 ありがとう、ポチ。

お助け1 私たちをかばってくれたんだね。

怪盗3 おかげで助かったよ。

怪盗2 でもほんとと、ドジね。

警備員4、こっそり出てきて紙袋をおく。

☆同時刻・チッチ・ビルディングの最上階のなんだかエラそうな部屋の扉の前

怪盗3 さあ、いよいよ最上階だよ。

怪盗2 この奥にお宝があるわけね。

お助け1 気をつけて。まだなにがあるか分からないから。

お助け1 大丈夫、この扉にワナはないみたい。

怪盗1 じゃあ、行くよ。

怪盗1、慎重に扉を開く。

お助け1 見て！

お助け1 あ、あれは…

怪盗3 ひよっとして…

怪盗2 私たちの大好きな…

怪盗1 中村屋の栗あんパン！？

みんな いっただっきまーす！

警備員4、怪盗たちが近づいてきたところで、紙袋を取り上げる。

「ガコーン！」と大きな音がして、落とし穴が開く。

みんな あー！ 落とし穴がーっ！

「ガチャン」と牢屋の閉まる音。

キャッツ組、捕まってしまう。

☆同時刻・チッチ・ビルディングの牢屋のある部屋

怪盗2 見事なワナね。

怪盗3 しょうがないわ。

怪盗1 かわしようがなかったもの。

お助け1 中村屋の栗あんパンを出してくるとは。

お助け1 あれ、一日15個限定で、朝の6時くらいから並ばないと買えないのよ。

怪盗3 そんな貴重なあんパンをワナに使うなんて…

怪盗2 なんてひどい奴らなのかしら。

チッチ ホーッホッホッホッホッ！

マダム・チッチ、宝物の段ボール箱を持ってやってくる。

チッチ こんな幼稚なワナに引っかかるとは、怪盗キャッツ・テイルも大したこと

ないわね。

怪盗2 なによ、あんた。

チッチ 私がお前たちの狙っているお宝の持ち主、マダム・チッチよ。

怪盗1 あなたがああワナを仕掛けた犯人ね。

みんな サイテー。

警察・警備員組、出てくる。

警部 ○○(怪盗1のなまえ)。

怪盗1 ○○(警部のなまえ)。

警部 まさかみんなが怪盗キャッツ・テイルだったなんて。

チッチ あら知り合いだったのね。まあいいわ。さっさと逮捕しちゃってちょうだい。

警察組、なわとびで怪盗たちをしばる。

怪盗1 ごめんなさい。

警部 ……。

チッチ さ、それじゃあたくしは、これを持ってそろそろ出発するわ。

マダム・チッチ、段ボールを持って行くこととする。

怪盗2 おねがい、待って。

チッチ まだなにかあるの。

怪盗2 それを返して。

警備員3 返して？

怪盗3 それは私たちの大切なものの。

警備員4 私たちの？

チッチ なにいつてるのよ。これはあたくしの物よ。

怪盗2 おねがい、○○(警部のなまえ)。その箱を開けて。それをもっていくのは、中を見てからでも大丈夫でしょ。おねがい。

怪盗3 おねがい。

お助け1・3 おねがい、○○(警部のなまえ)！

怪盗1 みんな。

警部 マダム・チッチ、箱の中を見せてもらえますか。

チッチ なにを言ってるのよ。こんなドロボウのことを聞くつもりなの。

怪盗1 おねがい、○○(警部のなまえ)。中を見て。

チッチ いい加減にきなさいー！

警部 取り押さえる。

刑事たち、マダム・チッチを後ろに引きずっていく。

チッチ ダメよ。その箱の中を見ちゃ絶対にダメ！やめてちょうだい、刑事さん！

警部、箱を開けると、中から緑のボールが出てくる。

警備員1 ボール？

警備員2 なんでこれがお宝なの？

警備員3 でもこのボール、どこかで見たことがある。

警備員4 これ、ひよっとして、

警部 あのときのボールだ。

怪盗1 いっしょに遊んだよね。みんなで。私は遠くに行っちゃうけど、これは私たちが友達だったあかしだから、これは私たちの、一番大切な宝物だから。そうだよ、○○○(警部のなまえ)。

警部 じゃあ、お店でいったあげたいものって。

怪盗1 このボール。どうしても○○○(警部のなまえ)にあげたかったの。

怪盗2 そのために、みんなで盗みに来たんだよ。

怪盗1 ずっと忘れなかったよ、いっしょに遊んだ、あのころのこと。私はドロボウで、あなたは刑事だけど、ずっと友達だと思ってたから。

お助け1 ○○○(警部のなまえ)だけじゃないよ。

お助け1 ○○○も、○○○も。(みんなのなまえ)

怪盗3 ○○○も、○○○も。(みんなのなまえ)

怪盗2 ○○○も、○○○も。(みんなのなまえ) 私たちは、みんなのことずっと友達だと思ってたよ。

怪盗1 だから、ごめんなさい。

刑事2 でも、なんでこのボールがここに？

チッチ ホーツホツホツホツ！

マダム・チッチ、警部の手からボールを取り上げる。

警部 マダム・チッチ！

チッチ とうとう知られてしまったようね。こうなった以上、仕方ないわ。教えて



ポチ  
あげる。このボールと、そしてあたくしの秘密を。実はあたくしは、  
待てーっ！

大砲を持って飛び込んできたポチ、マダム・チッチに向かって大砲を撃つ。

チッチ  
キャーッ！

マダム・チッチ、吹き飛ぶ。

みんな  
ポチ！

ポチ  
店長店長店長！ ご無事でしたか！？ 助けに来ました！

みんな  
バカーッ！

ポチ  
え？

お助け1  
なにしてんのよ。

お助け1  
ボールごと吹き飛んじやったじゃない。

ポチ  
ボール？ ボールがどうかしたんですか？

みんな  
バカーッ！

怪盗2  
あっち行ってなさい！

ポチ、追い出される。

怪盗1  
なくなっちゃった。私たちの思い出が。やっと見つけたのに。

警部  
大丈夫だよ。

怪盗1  
え？

警部  
ちゃんと覚えてるから。

刑事1  
そうだよ。忘れてないよ。私たちも。

警備員1  
みんなと遊んだこと。

警備員3  
ずっと友達だっと思ってたから。

刑事1  
○○(怪盗2のなまえ)のこと、

刑事2  
○○(怪盗3のなまえ)のこと、

警備員4  
○○(お助け1のなまえ)のこと、

警備員2  
○○(お助け2のなまえ)のこと、

警部  
○○(怪盗1のなまえ)のこと。

怪盗1 ……。

警部 ボールはなくなっちゃったけど、ちゃんと覚えてるから。ずっと忘れないから。

怪盗3 ねえ、遊ぼう！

怪盗2 ○○（怪盗1のなまえ）が行っちゃう前に、みんなでもう一回遊ぼう！  
みんな うん！

みんな、なわとびやピコピコハンマー、バランスボールで遊び始める。

怪盗1 じゃあ、行くね。

警部 向こうに行っても、また泥棒続けるの？  
怪盗1 分からない。

警部 続けなよ。そしたらまた、捕まえに行くからさ。  
怪盗1 ありがとう。

去ろうとする。

警部 カラスが鳴くからかーえろ。

怪盗1 バイバイ、みんな。また明日。  
みんな カラスが鳴くからかーえろ。バイバイ、みんな。また明日！

おしまい